

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 しまね暮らし推進課長 仁科 慎治郎 電話番号 0852-22-6179

事務事業の名称	県立しまね海洋館の管理運営	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	日本海を中心とした水生生物の間近で見ることのできる場を創出し、質の高い自然学習の機会や、遊空間を広く県民等に提供する。
事業概要	指定管理者である公益財団法人しまね海洋館により水生生物等の展示、調査研究、学習機会の整備、意識啓発などの管理運営	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県立しまね海洋館の入館者数	目標値		36.9	36.9	36.9	36.9	万人以上
		取組目標値						
	式・定義 実数（公益財団法人しまね海洋館からの報告値）	実績値		37.4				
		達成率		-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率		-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	189,082	189,079
うち一般財源 (千円)	189,082	189,079

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 入館者数は近年減少傾向であったが、平成27年度は各種イベントの開催等により、約374千人（対前年比101.3%、4,809人の増）となり、3年ぶりに増加に転じた。
- 「シロボシアカモエビ」の繁殖が、（公社）日本庄仏縁水族館協会繁殖賞を受賞

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○展示施設のリニューアルや各種イベントの開催など入館者増加に向けた取組を実施

展示施設のリニューアル

- ・アシカ、アザラシプール
- ・経年劣化等による修繕

各種イベント等

- ・飼育の日イベント「ペンギンの飼育体験」「海獣プールお掃除体験」
- ・サマースクール「お助け自由研究」「夜の海の生きものを観察しよう」「塩飴細工を造ろう！」
- ・秋季集客対策事業「アクアスわくわくエコフェスタ&シロイルカやサメのこはんを食べてみよう」
- ・みんなの知らないアクアスツアー
- ・シロイルカ新パフォーマンス「幸せの縁 ミラクルリング」新種目名前発表などを実施

また、学習機会の整備の取り組みとして、各種教育活動の受け入れを行った。

- ・学校教育課程の受け入れ 50件、2,364名
- ・出張講話 37件、1,102名など

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

年間入館者数の増加

②困っている状況が発生している「原因」

- 他地域での大型イベントの開催
- さらなる魅力化（他の水族館との差別化等）

③原因を解消するための「課題」

- 魅力あるイベント等の企画・実施
- 効果的なPR活動の実施
- 計画的な施設・設備の修繕、更新

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 中国5県から瀬戸内海沿岸へのPR活動の展開、近畿エリアでの誘致活動の実施
- 各種イベントの開催やシロイルカや改修したアシカ・アザラシプールでのパフォーマンスによる展示の魅力向上を図る
- ペンギン等の繁殖に取り組む
- 施設の長寿命化計画に沿った計画的な施設の修繕・改修

9. 追加評価（任意記載）

課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。